

令和4年度 第9回みやま市教育委員会定例会 会議録

◆召集日時 令和4年12月14日 午前10時00分

◆召集場所 みやま市役所山川支所 2階 大会議室

1. 出席教育長・教育委員（5名）

- ・教育長 待鳥 博人
- ・委員 井上 正明
- ・委員 樺島 靖子
- ・委員 宮本 篤
- ・委員 北原 八州子

2. 欠席委員（0名）

3. 事務局出席者（11名）

- ・教育部長 藤吉 裕治
- ・教育総務課長 堤 則勝
- ・指導室長 上田 理彰
- ・社会教育課長 山田 利長
- ・学校教育課長補佐兼学校教育係  
学務担当係長 河野 成嗣
- ・社会教育課長補佐兼社会教育係  
総合市民センター企画・運営担当係長 渡邊 満昭
- ・総務担当係長 荒木 洋子
- ・学校再編推進担当係長 中島 豊晴
- ・学校施設係長 今村 幸助
- ・学校給食担当係長 石橋 将和
- ・指導室主任指導主事 松藤 桂輔

4. 傍聴人（0名）

5. 議事日程

- (1) 会期の決定について
- (2) 会議録作成者の指名について
- (3) 会議録署名委員の指名について
- (4) 議案第21号 奨学生候補者の決定について
- (5) 議案第22号 みやま市スポーツ推進委員の委嘱について
- (6) 協議事項

- (7) 報告事項
- (8) 次回教育委員会について

【午前10時10分 開会】

【教育長】 師走も半ばを迎え、各学校では子どもたちが2学期の学習や1年間を振り返っていると思う。

新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない一方、日常生活の規制はほとんどなくなっている状況である。児童生徒の陽性者は毎日確認され、増加傾向である。インフルエンザとの同時流行が懸念されることから各学校にしっかりとした感染対策を引き続きお願いしている。

現在、12月市議会定例会が行われている。詳しくはこの後、部長からの報告で説明がある。

また、12月は小学6年生、中学3年生にとっては進路選択等、決定の時期でもある。みやま市教育委員会と各学校は「社会にはばたく子どもの育成」を目指して、様々な方策を通してキャリア教育を推進してきた。「高い志をもち、自分のよさを生かして進路実現を目指すみやまの子ども」の実現のためにも、教職員が子ども一人ひとりに寄り添い、進路選択、決定の支援をして欲しい。

みやま市内の小学6年生は毎年かなりの人数が、私立中学校等に進学している。みやま市の中学校は自分のよさを生かして、進路実現を目指すには私立中学校と比べても遜色ない良好な教育環境である。

中学校は小中連携で小学6年生に接続校へ進学するように、しっかりPRし、小学校も後押しをお願いしたい。

ただ今から、令和4年度第9回みやま市教育委員会定例会を開会する。

○日程第1 第9回みやま市教育委員会定例会の会期は、令和4年12月14日の1日間とする。

・・・全員同意

○日程第2 会議録作成者は、総務担当係長 荒木洋子とする。

・・・全員同意

○日程第3 会議録署名委員の指名については、教育長と宮本篤 委員とする。

・・・全員同意

○日程第4 **議案第21号**

■ **奨学生候補者の決定について**

【教育総務課長】 ー提案理由の説明ー

【教育長】 ・質疑などありませんか。

【宮本委員】 ・申請の数はどれくらいあったのか。

【教育総務課長】 ・申請は11名だったが、1名が所得基準を超えていたので非該当となった。

【教育長】 ・議案どおり可決してよろしいですか。  
「異議なし」

・・・可決

○日程第5 **議案第22号**

■ **みやま市スポーツ推進委員の委嘱について**

【社会教育課長】 ー提案理由の説明ー

【教育長】 ・質疑などありませんか。

【井上委員】 ・欠員はどうするのか。

【社会教育課長】 ・今回、スポーツ推進員から情報提供があり委嘱に繋がったので、地域に適任の方がいらっしゃらないかスポーツ推進員に相談している。

【教育長】 ・議案どおり可決してよろしいですか。  
「異議なし」

・・・可決

○日程第6 **協議事項**

■ **次年度の教育施策の重点等について**

【教育長】 ー提案理由の説明ー

【教育長】 ・忌憚のないご意見をいただきたい。

【宮本委員】 ・ICT教育のタブレット活用で、中学校の先生と話す機会があり、使い方の提案をしたところ、先生が難しく考え過ぎている気がした。日頃の仕事の中でタブレット活用について考えるのは大変なので、誰かに任せるのも方法としてあるのではないかと感じた。例えば、タブレット活用部を作って部活として生徒に考えさせるのもいいのではないかと思う。身近なところから、シンプルにできることを試してみてもどうか。

【主任指導主事】 ・中学校では学習委員会の先生が定期テストの問題を作成している。そこで宮本委員が先生に提案されたタブレットの使い方を検討し、取り入れることができればと思う。

また、英語の先生の中には、スピーキングの指導でタブレットを活用していると聞いた。授業以外の宿題でもタブレットを活用するなど、広まりは少しずつ出てきている印象はある。

- 【井上委員】 ・施策の大きな柱が欲しい。  
 みやま市の大きな学校の変わり方として、令和5年度から2学期制施行があるので、特色ある何かを作りたいと思う。  
 また、みやま市の小中学校が総合市民センターを活用する学校行事を考え、学習の最適化に資するような施設利用に取り組んでいくべきではないかと思う。自分の学校だけで何とかしようという考えを変えて、みやま市全体で子どもを育てる視点を持って、学校づくりを行っていただきたい。  
 みやま市に残っている文化的な事業を支えていく、人材育成の視点を持った学校教育の在り方も大事だと思う。
- 【指導室長】 ・数年前から、それぞれの学校で人材育成の視点をもってカリキュラムを作り、生活総合や学習の中に位置付けて行っている。

○日程第7 **報告事項**

■ **教育部長**

- 【教育部長】 ○12月議会一般質問について (資料P1)  
 ○文教厚生常任委員会(12月12日開催)について  
 35人学級の市雇用講師の給与改定に伴う条例の改正について、議案審議が行われた。また、個人からの寄附金について、二川小学校の消耗品費及び印刷資本費に充てるための補正予算の説明。図書館の換気対策のための網戸工事、高田B&G海洋センタープールの改修工事の補正予算について審議をいただいた。
- 今後の行事について  
 12月18日筑後広域公園において市民駅伝大会を開催予定。1月7日消防の出初式。1月8日総合市民センターにて「二十歳のつどい」を開催予定。

■ **教育総務課**

- 高田小学校の進捗について (別紙資料)
- 【学校再編推進担当係長】  
 ・4校合同保護者説明会について  
 ・今後の予定について
- 【学校施設係長】  
 ・工事の進捗状況について  
 ・外構工事について  
 ・浄化槽工事について
- 【総務担当係長】 ○越前町・みやま市児童交流事業について (別紙資料)

- 【教育長】 ・ 質疑等ありませんか。
- 【宮本委員】 ・ 工事資料の写真で、高田小学校の名前を壁に彫るようになっていて、せつかなので雑草に隠れないよう設置していただきたい。
- 【学校施設係長】 ・ 写真では雑草に隠れているが、綺麗に草刈りをして設置する予定である。

## ■ 学校教育課

### 【学校教育課長補佐】

- 12月の新型コロナウイルス感染状況について (別紙資料)

## ■ 指導室

- 【指導室長】 ○みやま市小中学校2学期制の試行について (別紙資料)

## ■ 社会教育課

### 【社会教育課長】 ○二十歳のつどいについて

法律の改正により成人年齢が18歳に引き下げられたが、対象については今年度20歳を迎える方とし、名称を「二十歳のつどい」に変えて実施する。2年間は、午前と午後の2部制で行ってきたが、今年度は午前のみ1部制とする。感染対策として時間を短縮し、来賓を制限しながら開催していきたい。

### ○清水山ロードレース大会について

昭和49年からスタートして今年度で50回目を迎えるが、近年では様々な自治体が同様の大会を開催しており、参加者数が年々減少している。また、大会の主催はみやま市、みやま市教育委員会、みやま市スポーツ協会の3者の共催となっているが、実際はスポーツ協会が主体で運営を行っている。今回、スポーツ協会から会員数の減少により、大会運営に支障をきたしているため、本大会を最後として主催から外れたいという申し出があった。これを受けて協議した結果、今年度の第50回をもって清水山ロードレース大会は終了する決定となった。

- 【教育長】 ・ 質問等ありませんか。
- 【宮本委員】 ・ 2学期制について、通知表のフォーマットなどは変更される予定なのか。先生の負担も大きいという話があり、簡略化することを考えてもいいのではないかと思う。

### 【学校教育課長補佐】

- ・ 大幅な変更をすると費用がかかることもあり、今のシステムをそのまま使用することになっている。今後、システム変更等があれば、その段階で検討していきたい。

【井上委員】 ・小中学生の8.8%に発達障害の可能性があるというニュース報道があった。みやま市では、発達障害の子ども的人数は把握されているのか。

【学校教育課長補佐】

・把握していないが、特別支援学級に就学する児童生徒の数は、以前に比べると増えている。

【井上委員】 ・特別支援学級で授業を受ける子どもと発達障害は別だと思う。発達障害と認められる子どもが8.8%ならば、グレーゾーンの子どもの入れたら、少なくともクラスに1割ぐらいはその可能性のある児童生徒がいると考えられる。どのように実態把握をしているのか。

【学校教育課長補佐】

・各学校では、困り感のある児童生徒の把握はされている。その中で検査や相談を受けるケースはあるが、どうしても話ができない保護者もいらっしゃるので、全体を把握するのは難しい。

【樺島委員】 ・実態把握は大事なので、一度グレーゾーンまで含めて調査をされてみてはどうか。

また、通級の先生になるのは大変なことなので、専門の先生を育成していかなければいけない。ここがしっかりすると、学校は落ち着いてくると聞くので大事なことだと思う。

【指導室長】 ・できるだけ免許を持っている先生を考えているが、特別支援の免許を持っている先生が少ないのが現状である。

【教育長】 ・発達障害の子どもが増えているのは実情である。みやま市には特別支援教育に専門的な見地を持った指導主事がおられるが、1人では足りないのが現状である。人材育成も含めて難しいところがあるが、学校と連携を図りながら、しっかり子どもたちを見守りながら取り組んでいかなければいけない。

○日程第8 次回の教育委員会について

◎ 臨時教育委員会 令和5年1月10日(火) 13時00分～

◎ 次回定例会 令和5年1月27日(金) 10時00分～

【教育長】 これで本日の日程は全て終了しました。  
令和4年度第9回みやま市教育委員会定例会を閉会します。

【午前11時50分 閉会】